

にじ

磐田中部小学校
第1学年 R2.1.31
学年日より

もうすぐ2年生だね

暖冬と言われる今年、子どもたちは、天気の良い日は外で元気に遊んで昼休みを過ごしています。

冬休み前に植えたチューリップもかわいらしい芽を出し始めました。少しずつですが、春の訪れが感じられる今日この頃です。

2月は学年のまとめをする様々な活動を計画しています。子どもたちが充実した活動を行うために、引き続き家庭でも体調管理に努めていただきますよう、御協力よろしくお願いします。



2月の行事予定



	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 学年会礼 わくわくタイム 校納金振替日	4 入学説明会 A4日課 (1・2年)	5	6 健康の日 清潔検査	7 ひまわりお別 れ遠足	8 PTA親子 奉仕作業 (6年生、 1・2回目 欠席者)	9
10 読み聞かせ わくわくタイム 校納金再振替日	11 建国記念の日	12	13 チャレンジ テスト(国) B5日課 清潔検査	14 上学年参観会 懇談会	15	16
17 読み聞かせ わくわくタイム	18 下学年参観会 懇談会	19	20 B5日課 清潔検査 チャレンジ テスト(算)	21 6年生ありがとうの会 弁当	22	23 天皇 誕生日
24 振替休日	25 A4日課 (1・2年)	26	27 B5日課 清潔検査	28 B5日課	29	

〈3月の主な予定〉

16日(月)給食最終

17日(火)特4日課

18日(水)修了式

《お知らせとお願い》



＜持ち物に記名を！＞

最近記名がなく、持ち主にすぐに届かない文房具が増えています。新しく使うものには必ず記名をお願いします。物を大切に使う心を育てることもつながります。

＜転出について＞

来年度の児童数を把握したいため、4月1日以降の転出の予定がある方は、早目に担任までお知らせください。よろしくお願いします。

＜校納金の振替について＞

今年度最後の振替です。確実に引き落としができるよう、御協力をお願いします。

2月分 4470円（給食費4470円 学年費0円）

＜2月18日の参観会について＞

各学級で、生活科の「できるようになったよ発表会」を行います。1年生になってできるようになったことについて、出席番号順に、1人1分程度で発表をしますので、ぜひ御覧ください。



＜白衣について＞

週初めには、必ず白衣が学校に届くようにしてください。欠席の場合は、兄弟や通学班の子供に頼むか、事務室へ届けるようにしてください。

＜本読みカードについて＞

短文作りが始まって2週間がたちました。丁寧な取り組みは、力になります。主語を入れたり、習った漢字や片仮名を使ったりして、月・水は3行目まで、金は4行目まで入るような文になっているか確認して、よい文作りをさせてください。

計算カードは、4つとも合格した人でも、足し算と引き算のどちらも1種類ずつタイムを計って記入をお願いします。継続して取り組んでください。

＜定着度調査の結果と今後の対応について＞

☆国語

- ・**二**の漢字の読みの問題は、比較的よくできていました。
- ・**五**助詞を文の中で正しく使う問題は、比較的よくできていました。
- ・**九**（1）の問題では、3つ○を付けてしまったり、かたちに○を付けてしまったりする誤答が多く見られました。授業の中で分かりにくい言葉が出てきたときに、みんなで考える機会を取り入れるようにしていきます。また、短文づくりで分かりにくい言葉を取り入れて、継続して指導していきます。
- ・**九**（4）の問題では、番号を書かずに1つを選択してしまう誤答が見られました。説明文の単元では、子どもたちだけで「問い」と「答え」を見付ける活動を取り入れたり、説明文の本文を何度も自分で読む習慣をつけたりしていきます。
- ・**九**（5）の説明文の内容の大体を読む問題の正答率が低い結果になりました。長文を読んで、その文章に共通するテーマが何か考えるよう指導します。また、初めて読む文章の問題を解く機会を増やすようにします。

☆算数

- ・全体的に正答率が高い結果でした。しかし、基本的な計算でのケアレスミスが所々見られたので、計算カードやドリル学習で計算を繰り返し行い、正確に答えられるようにしていきます。
- ・**1 1**の問題では、今までは、物自体が異なる場合の数の違いを問う問題が多かったのに対して、今回は、風船という物は同じで、色の違いを答える問題であったため、上手く答えることができない子がいました。物が同じで色や形が異なる場合の数の違いを問う問題を解く機会をつくって指導します。（1月チャレンジテスト）
- ・**1 3**の問題では、問題の中の「〇〇め」に気付くことができず、左から2番までを丸で囲んでしまう誤答がありました。「左から〇〇番まで」と「左から〇〇番目」の違いが分かるように、それらが混ざった問題を解く機会をつくって指導します。
- ・**1 4**の問題では、「のこり」と入れるところに数字を入れてしまっている誤答が見られました。足し算、引き算になる言葉をしっかりと理解させ、問題作りの時には、文のつながりを読み返して確認する習慣が付くように繰り返し指導します。